



■使用評価マニュアル：CASBEE 2014年版

（使用評価ソフト：CASBEE 2014(v.3.01)）

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 柏の葉154街区計画	階数	地上12F
建設地	千葉県柏市若葉164-1、276-1の一	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	243 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年3月24日
敷地面積	2,748 m ²	作成者	株式会社 鴻池組
建築面積	857 m ²	確認日	—
延床面積	6,557 m ²	確認者	—



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>柏の葉キャンパス周辺まちづくりとの調和に配慮した計画とし、熱負荷の低減や環境にも配慮した建築物を目指している。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>ペアガラスの採用や屋根・壁・床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>敷地周縁部を積極的に緑化することで、隣地と緑をつなげ、まちなみに配慮した。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>南側窓にLow-Eガラスを採用し熱負荷低減に配慮した。潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮した。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>ライフサイクルCO₂排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。</p>
<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>躯体は劣化対策等級3相当とし、劣化しにくい材料を採用し、維持管理のしやすさに配慮した。</p>	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>エコマーク取得製品の積極的な採用や、オゾン破壊係数に配慮した材料を選定した。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

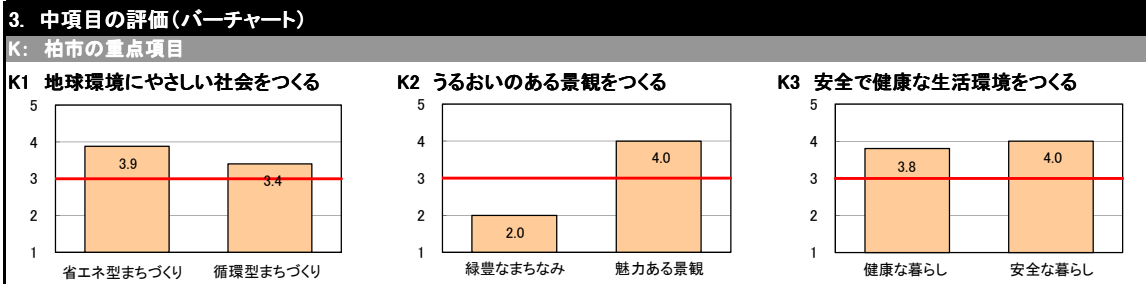


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.3.01)

1 建物概要			
建物名称 (仮称) 柏の葉154街区計画	建築物の環境効率 (BEEランク)	A	★★★★★☆☆

2 重点項目への取り組み度			
重点項目	取り組み度※ (得点/満点)		評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.6 / 5.0	☆☆☆☆	
K2 うるおいのある景観をつくる	3.0 / 5.0	☆☆☆☆	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.9 / 5.0	☆☆☆☆	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>照明計画において、省エネ型ランプ・器具の採用や人感センサーによる照度調整制御を採用した。</p> <p>ディスプレイを計画することでごみを自家処理する計画とした。雨水については、雨水流出抑制のための雨水貯留槽を設置した。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 2.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.6 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.6 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 4.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>敷地周縁部を積極的に緑化することで、隣地と緑をつなげ、まちなみに配慮した。</p> <p>三層構成による外観とし、柏の葉キャンパス周辺まちづくりとの調和に配慮した。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 2.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 ○ 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>健康的な生活が営めるよう、どの住戸にも十分な採光・通風を確保できる建物形状とした。</p> <p>安心して暮らすことができるよう、オートロックシステム、防犯センサー等による防犯対策を積極的に取り入れた。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 3.6 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 4.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 ○